



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場会社名 伊豆シャボテンリゾート株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6819 URL http://www.izu-sr.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)北本 幸寛
 問合せ先責任者 (役職名)経営企画室室長 (氏名)桑原 亮介 (TEL)03(5464)2380
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	588	17.0	36	—	40	—	79	—
28年3月期第1四半期	503	△3.4	△23	—	△22	—	△19	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 85百万円(—%) 28年3月期第1四半期 △21百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	2 78	— —
28年3月期第1四半期	△0 68	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,630	907	55.7
28年3月期	1,642	829	50.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 907百万円 28年3月期 822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
29年3月期	— —				
29年3月期(予想)		0 00	— —	0 00	0 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	9.8	240	26.8	240	—	200	—	7.02
通期	2,900	4.0	310	1.4	310	448.3	250	844.1	8.78

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	28,496,537株	28年3月期	28,496,537株
29年3月期1Q	20,403株	28年3月期	20,393株
29年3月期1Q	28,476,158株	28年3月期1Q	28,476,510株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業の設備投資や個人消費が力強さに欠け、景気は不透明な状況で推移しました。また、英国のEU離脱決定などもあり、先行きにつきましても不透明な状況が見込まれます。

このような状況下、当社が展開するレジャー事業では、経営理念である「ステークホルダーと共に」及びブランドスローガンである「ご来園者の笑顔のために」の元に、各運営施設の入園者数と売上確保に努めております。エンターテインメント事業では、継続してCM制作受注及びプロモーション受託に努めております。また投資事業では、引き続き過去に投資した債権の回収を図っております。リスクマネジメントの観点から事業ポートフォリオの再構築についても適宜検討しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高5億88百万円（前年同四半期に比べ17.0%増）、営業利益36百万円（前年同四半期は営業損失23百万円）、経常利益40百万円（前年同四半期は経常損失22百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益79百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失19百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間の概況をセグメント別に申し上げますと次のとおりであります。

(レジャー事業)

伊豆シャボテン公園では、リスザルやワオキツネザル、マーラの赤ちゃんが誕生し、又新たにコツメカワウソなどの動物が仲間入りするなど、多彩な動物達が集客に努めました。

伊豆ぐらんぱる公園では、ナインボット、エアーホイールなど近未来的デザインの新感覚伝導二輪車に乗れる新アトラクション「モーターランドnorinori」がスタートいたしました。また、「グランイルミ」を8月末まで延長し、また“Special Thanks”キャンペーンとして、入場料を半額にするなどいたしました。

伊豆四季の花公園では、今回で10回目となる「城ヶ崎あじさいまつり」を開催し集客に努めました。

入園者数は328千人（前年同四半期に比べ6.2%増）、グランイルミへの入場者を加えると351千人となりました。

この結果、レジャー事業では、売上高5億81百万円（前年同四半期に比べ16.4%増）営業利益34百万円（前年同四半期は営業損失18百万円）となりました。

(エンターテインメント事業)

エンターテインメント事業では、CM制作による売上、プロモーション受託や当社が保有するコンテンツの二次使用による著作権収入がありました。

この結果、エンターテインメント事業では、売上高7百万円（前年同四半期に比べ107.1%増）営業損失12百万円（前年同四半期は営業損失17百万円）となりました。

(投資事業)

投資事業では、過去に投資した投資有価証券の売却や債権回収を図りましたが、新規投資による売上はありませんでした。

(その他)

当第1四半期におけるその他の事業につきましては、売上高はありませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて49百万円減少し、4億23百万円となりました。これは主として、現金及び預金が91百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて37百万円増加し、12億6百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が41百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べて12百万円減少し、16億30百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて73百万円減少し、2億94百万円となりました。これは主として、未払金が57百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて17百万円減少し、4億28百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて90百万円減少し、7億22百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて78百万円増加し、9億7百万円となりました。

また、自己資本比率は前連結会計年度末の50.1%から55.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に発表しました平成29年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきまして、現時点での変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度の減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

1 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における四半期連結財務諸表への影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	340,953	249,555
売掛金	48,013	28,016
未収入金	6,131	7,438
商品等	15,652	40,878
繰延税金資産	50,642	75,408
その他	11,606	22,223
流動資産合計	473,000	423,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	690,695	732,149
土地	269,655	269,655
その他	157,522	156,828
有形固定資産合計	1,117,873	1,158,633
無形固定資産		
ソフトウェア	10,231	9,393
無形固定資産合計	10,231	9,393
投資その他の資産		
投資有価証券	8,128	5,036
長期化営業債権	13,024	13,024
破産更生債権等	754	754
その他	33,200	33,711
貸倒引当金	△13,778	△13,778
投資その他の資産合計	41,328	38,747
固定資産合計	1,169,434	1,206,774
資産合計	1,642,434	1,630,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,371	24,786
未払金	213,710	155,917
前受金	42	71
預り金	19,120	18,758
未払法人税等	32,966	35,915
賞与引当金	16,814	25,995
その他	46,904	33,195
流動負債合計	367,931	294,641
固定負債		
退職給付に係る負債	128,924	125,096
偶発損失引当金	272,564	272,425
その他	43,938	30,777
固定負債合計	445,427	428,299
負債合計	813,358	722,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,091	100,000
資本剰余金	186,500	425,508
利益剰余金	198,388	393,738
自己株式	△11,918	△11,893
株主資本合計	828,062	907,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,813	-
その他の包括利益累計額合計	△5,813	-
新株予約権	6,827	-
純資産合計	829,076	907,353
負債純資産合計	1,642,434	1,630,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	503,364	588,962
売上原価	190,494	210,489
売上総利益	312,870	378,472
販売費及び一般管理費	336,404	341,825
営業利益又は営業損失(△)	△23,533	36,647
営業外収益		
受取利息	15	0
受取賃貸料	325	3,058
受取手数料	210	212
その他	701	618
営業外収益合計	1,253	3,890
営業外費用		
支払利息	-	30
敷金償却	270	-
その他	-	181
営業外費用合計	270	211
経常利益又は経常損失(△)	△22,549	40,326
特別利益		
固定資産売却益	57	2,410
新株予約権戻入益	-	7,586
受取保険金	4,204	21,855
債務免除益	1	-
特別利益合計	4,264	31,851
特別損失		
投資有価証券評価損	3,598	8,906
その他	-	0
特別損失合計	3,598	8,906
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△21,884	63,272
法人税、住民税及び事業税	463	8,746
法人税等調整額	△2,851	△24,766
法人税等合計	△2,388	△16,020
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19,496	79,292
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,496	79,292

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19,496	79,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,571	5,813
その他の包括利益合計	△1,571	5,813
四半期包括利益	△21,067	85,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21,067	85,106
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動が認められます。

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	455,091	186,500	198,388	△11,918	828,062
当第1四半期連結会計期間末までの変動額					
資本金の取崩	△355,091	355,091	—	—	—
その他資本剰余金からその他利益剰余金へ振替	—	△116,057	116,057	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	—	—	79,292	—	79,292
自己株式の取得	—	—	—	△4	△4
自己株式の処分	—	△25	—	29	3
当第1四半期連結会計期間末までの変動額合計	△355,091	239,008	195,349	24	79,291
当第1四半期連結会計期間末残高	100,000	425,508	393,738	△11,893	907,353

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	499,897	3,452	—	503,350	14	503,364	—	503,364
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	29	16	30,300	30,345	9,000	39,345	△39,345	—
計	499,926	3,469	30,300	533,696	9,014	542,710	△39,345	503,364
セグメント利益又は 損失(△)	△18,848	△17,145	19,414	△16,578	△6,955	△23,533	—	△23,533

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。
 2. 売上高の調整額△39,345千円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	レジャー 事業	エンター テイメント 事業	投資事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	581,813	7,149	—	588,962	—	588,962	—	588,962
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	244	1,010	30,300	31,554	9,000	40,554	△40,554	—
計	582,057	8,159	30,300	620,517	9,000	629,517	△40,554	588,962
セグメント利益又は 損失(△)	34,998	△12,600	15,378	37,776	△1,128	36,647	—	36,647

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。
 2. 売上高の調整額△40,554千円は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

(重要な後発事象)

当社連結子会社における訴訟の和解の合意について

当社の連結子会社である株式会社伊豆シャボテン公園（以下「ISP社」という）は、平成28年8月8日に、静岡地方裁判所沼津支部より、ISP社の保有不動産（以下「対象不動産」という）に対する競売開始決定の通知を受けました。今回の競売開始決定通知の対象不動産はISP社が保有するぐらんぱる公園等の土地・建物であり、シャボテン公園部分は含まれておりません。

本競売開始決定通知は、平成28年5月12日「当社子会社における和解内容に関する新たな合意に関するお知らせ」にて開示した、株式会社ケプラムとの間で締結した新たな合意書に記載された合意内容に基づくものであります。

なお、当社グループは、当該発生可能性を考慮し、前第2四半期連結会計期間におきまして、ISP社保有の土地・建物に対して、偶発損失引当金を計上いたしております。